

# 令和3年11月18日 SDGsに関する活動を リモート会議にて全校生徒に報告しました。



# 令和3年度 SDGsに関する活動

---

生徒会執行部

# 目次

---

## 1. SDGsとは

## 2. 海岸清掃

(1) 目的

(2) 1年生活動内容・感想

(3) 2年生活動内容・感想

(4) 3年生活動内容・感想

(5) アンケート結果

(6) 生徒会まとめ

## 3. 募金活動

(1) 目的・募金額

(2) 1年生活動内容・感想

(3) 2年生活動内容・感想

(4) 3年生活動内容・感想

(5) アンケート結果

(6) 生徒会まとめ

## 4. 全体のまとめ

# SDGsとは

「Sustainable Development Goals」の略  
2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標

2001年に策定のMDGs(Millennium Development Goals)の後継として2015年に国連サミットで採択



SDGs



MDGs

# SDGsとMDGsの違い

MDGs(ミレニアム開発目標)	SDGs(持続可能な開発目標)
8の目標／21のターゲット	17の目標／169のターゲット
途上国の目標	すべての国の目標
国連の専門家主導で策定	国連全加盟国で交渉
	実施手段も重視

スタスタ

参照：外務省『「持続可能な開発目標」(SDGs)について』

# SDGsに関する活動①

## 海岸清掃

# 目的

---



高大連携事業の一環として

# 1年生 活動内容

---

## ●活動内容

- ・東の輪海岸の清掃  
（5月17日）
- ・ゴミの分析

## ●ゴミの種類

### 【燃やすゴミ】

- ・ロープ ・布

### 【燃やさないゴミ】

- ・ガラス

### 【資源】

- ・プラスチック ・ペットボトル

# 1年生活動の様子

---



# 1年生 感想

---

## ●感想

- ・プラスチックやペットボトルなどのゴミが多かった。
- ・やりがいを感じた。
- ・海外から流れてきたゴミが多くあった。
- ・プラスチックゴミで魚が死んでしまう可能性があると思った。
- ・今のためでなく未来のための海岸清掃にできた。

## ●自分たちにできること

- ・マイバック・マイボトルを使う。
- ・ポイ捨てをしない。
- ・ゴミを極力出さない。
- ・ゴミ拾いをする。

# 2年生 活動内容

## ●活動内容

- ・鯨波海岸の清掃  
（7月16日）
- ・廃材アート(統一祭)集め
- ・高大連携事業



## ●ゴミの種類

### 【燃やすゴミ】

- ・靴(サンダル、スニーカー)

### 【燃やさないゴミ】

- ・ガラス ・電球

### 【資源】

- ・プラスチック ・ペットボトル

# 2年生活動の様子

---



# 2年生 感想

---

## ●感想

- ・思っていた以上にゴミが多かった。
- ・燃やすゴミよりもプラスチックやペットボトルのゴミの方が多かった。
- ・たくさん拾ってきれいになった。
- ・心がきれいになった。
- ・大学生と協力しながらゴミを拾えた。

## ●自分たちにできること

- ・ポイ捨てをしない。
- ・リサイクルをする。
- ・ゴミ拾いを積極的に行う。
- ・無駄な買い物はしない。

# 3年生 活動内容

---

## ●活動内容

- ・石地海岸の清掃  
（10月26日）
- ・高大連携事業

## ●ゴミの種類

### 【燃やすゴミ】

- ・ティッシュ ・ヘルメット

### 【燃やさないゴミ】

- ・ガラス ・ルアー

### 【資源】

- ・プラスチック ・ペットボトル

# 3年生活動の様子



# 3年生 感想

## ●感想

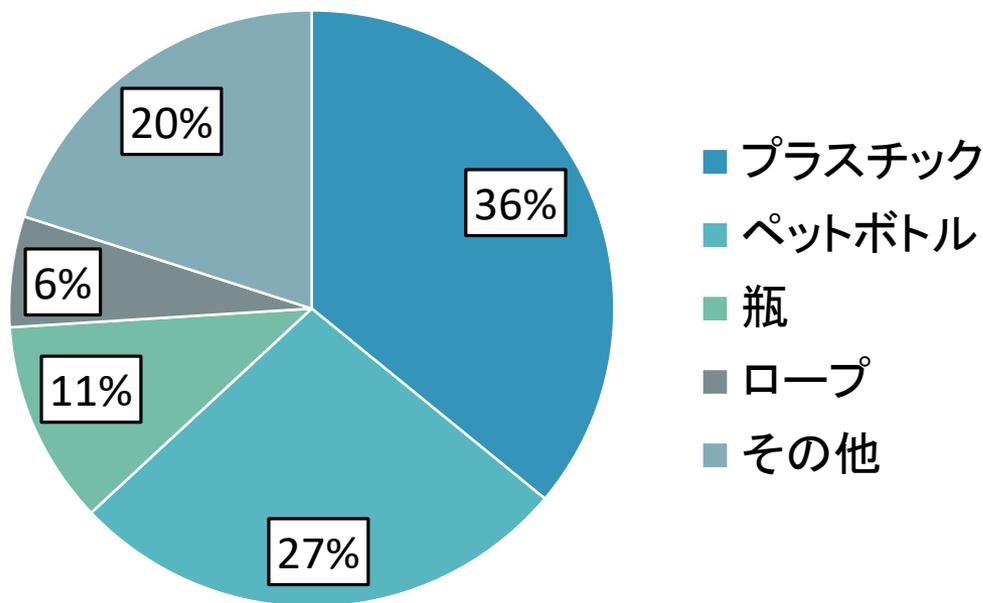
- ・思っていた以上にゴミが多くてびっくりした。
- ・小さなプラスチックの破片がたくさんあり、危ないと思った。
- ・きれいにすることができた。また、きれいな海にしていきたいと思えた。
- ・生活の役に立てた。貢献できた。
- ・大学生と共同作業ができた。

## ●自分たちにできること

- ・ポイ捨てをしない。
- ・ゴミ拾いをする。
- ・自分のゴミは自分で持ち帰る。
- ・ボランティアに参加する。

# アンケート結果①

## ゴミの種類



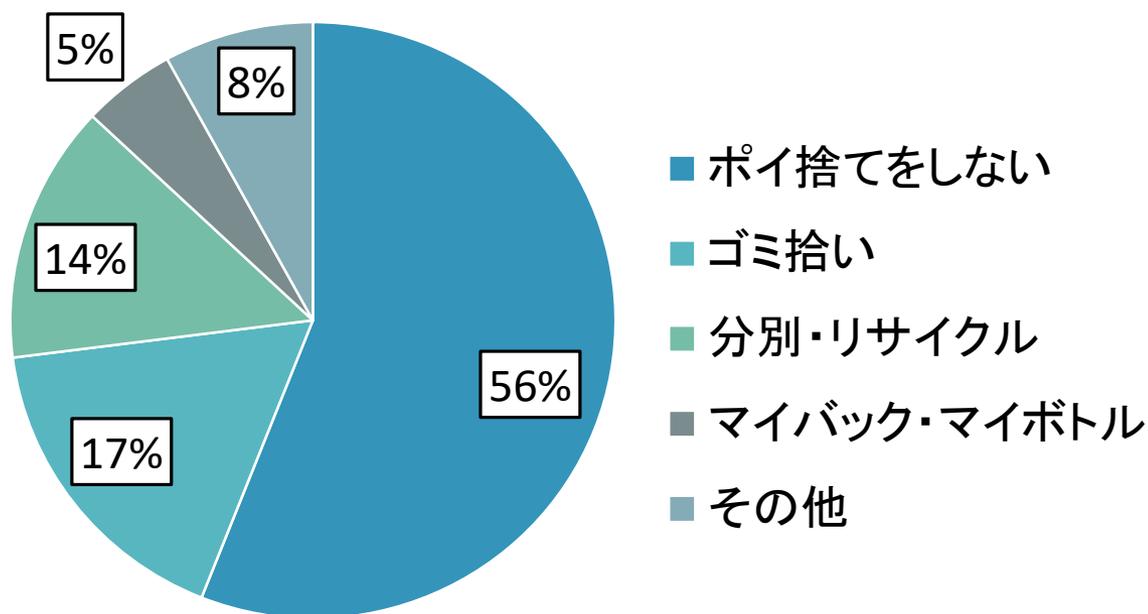
プラスチック・ペットボトル・瓶など、資源になるものが多くみられた。

ほとんどのペットボトルには中身が入っていた。

その他には、靴やヘルメット、サッカーボールなど海に必要なない物がたくさんあった。

# アンケート結果②

## 自分たちにできること



半分以上の生徒がポイ捨てをしないと答えた。

海に足を運ぶときは1回につき5個のゴミを持って帰るなどの意見も見られた。

その他としては、ボランティアへの参加やポイ捨てする人への注意や呼びかけを行うなどが挙げられた。

# 生徒会のまとめ

---

## ● 海岸清掃を終えて

- ・鯨波海岸は大きなゴミが多かったのに比べ、石地海岸は細かいゴミが多くみられた。
- ・海水浴シーズンはもちろん、シーズン後でもたくさんのゴミが落ちていることが分かった。
- ・2年生、3年生は高大連携事業としての活動としても行い、大学生との交流ができていてよかった。

## ● 今後

- ・ポイ捨てをしないことはだれでも始められる活動のひとつだと思う。ポイ捨てをしなくなることで落ちているゴミの量を減らしていく。
- ・自分のゴミではなくても落ちていたら積極的に拾い、海だけでなく、学校などの公共の場もきれいにしていく。
- ・出かけるときはできるだけ、マイバック、マイボトルを利用する。

# SDGsに関する活動②

## 募金活動

# 目的・募金額

---

2 飢餓を  
ゼロに



3 すべての人に  
健康と福祉を



4 質の高い教育を  
みんなに



6 安全な水とトイレ  
を世界中に



募金額

38,627円

2021  
We Support UNICEF

*Certificate*

Presented to

新潟産業大学附属高等学校 様

みなさんは、厳しい状況のなかで生きる  
世界の仲間たちを思い、一生懸命に  
ユニセフ活動に取り組んでくださいました。

みんなが平和に暮らせる世界を作るために、  
自分にできることを考え、協力して活動した経験を  
どうか忘れずにいてください。

みなさんが、これからもユニセフとともに、  
希望ある未来を作る力になってくださることを  
願っています。

2021年9月30日

Henrietta H. Foe  
Executive Director, UNICEF  
ユニセフ 0400 総合支局長  
事務局長 ヘンリエッタ・フォア

Ryoko Akamatsu  
Chairperson, Japan Committee for UNICEF  
(公財) 日本ユニセフ協会  
会長 赤松 良子

for  
every child



unicef

# 1年生 活動内容・感想

## ●事前学習の感想

- ・世界には困っている人や苦しんでいる人がたくさんいると感じた。
- ・学校に行けない子供や予防接種を受けることができない子供がいることが分かった。
- ・苦しんでいる人に対して、1円からでも助けることができることを知った。
- ・まともに食事ができない人が多くいることを知った。

## ●活動内容

- ・各クラスに募金箱の設置
- ・統一祭のクラス企画



# 1年生 感想

---

## ●活動を通しての感想

- ・少しでも役に立ってほしい。
- ・自分が力になれていると感じた。
- ・ちょっとしたことだけど、そのお金でみんなが楽しく暮らせたらなと思った。
- ・募金をして、少しでも多くの子供たちが学校に通えるような環境になればいいと思った。

## ●自分たちにできること

- ・募金活動
- ・節約
- ・ゴミ拾い、海岸清掃
- ・残さず食べる
- ・まだ使えるものは使うなど再利用を心掛ける。

# 2年生 活動内容・感想

---

## ●事前学習の感想

- ・困っている人や苦しんでいる人がたくさんいることが分かった。
- ・今の当たり前の生活ができていない人もいる。今の生活に感謝し、ボランティア活動に参加していきたい。
- ・苦しんでいる人を救うために協力したい。
- ・ユニセフについてあまり知らなかったけど、知ることができた。

## ●活動内容

- ・昼休み各クラス巡回
- ・統一祭のクラス企画

# 2年生 感想

---

## ●活動を通しての感想

- ・少しでも世界の子供たちが助けられればいいなと思った。
- ・世界の役に立てたと感じた。
- ・募金は大切な活動であると思った。
- ・身近にもっと募金ができる機会が増えるといいなと思った。
- ・ユニセフ募金で病気の人々にワクチンなどを提供できると知った。

## ●自分たちにできること

- ・募金活動
- ・環境の美化
- ・ゴミを増やさない
- ・ボランティアへの参加

# 3年生 活動内容・感想

---

## ●事前学習の感想

- ・幸せな人だけでなく、困っている人や苦しんでいる人もいることが分かった。
- ・世界で大変な人が多くいる中で自分たちは恵まれていると感じた。
- ・きれいな水を飲めなくて困っている人もいるため、自分のできることをしたいと思った。
- ・さまざまな問題をなくしていかなければならないと思った。

## ●活動内容

- ・昼休み各クラス巡回
- ・統一祭のクラス企画

# 3年生 感想

## ●活動を通しての感想

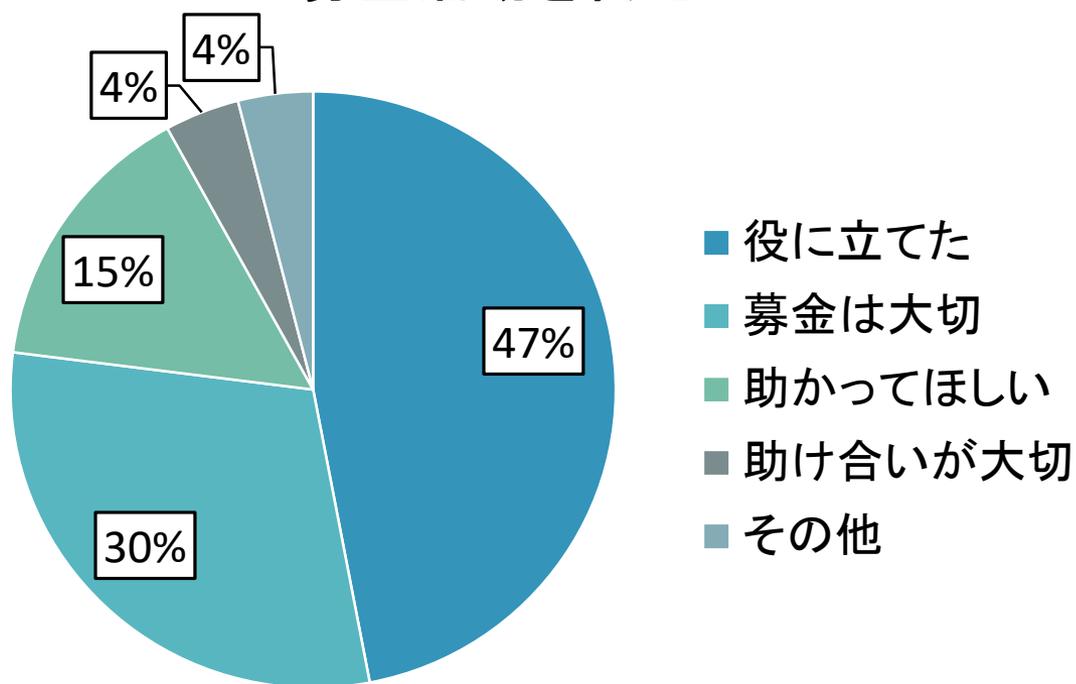
- ・少しでも役に立っていたら嬉しい。
- ・募金は大切だと感じた。重要な活動であると感じた。
- ・少ないお金でもたくさんの人を助けられると知って、今後も募金したいと思った。
- ・世界で助け合うことは大切。
- ・小さなことでも人の命を救えるということを感じた。

## ●自分たちにできること

- ・募金活動
- ・節約
- ・SDGsの知識を広める。  
理解を深める。
- ・ゴミの分別
- ・世界が平和になるように協力したい。

# アンケート結果①

## 募金活動を終えて

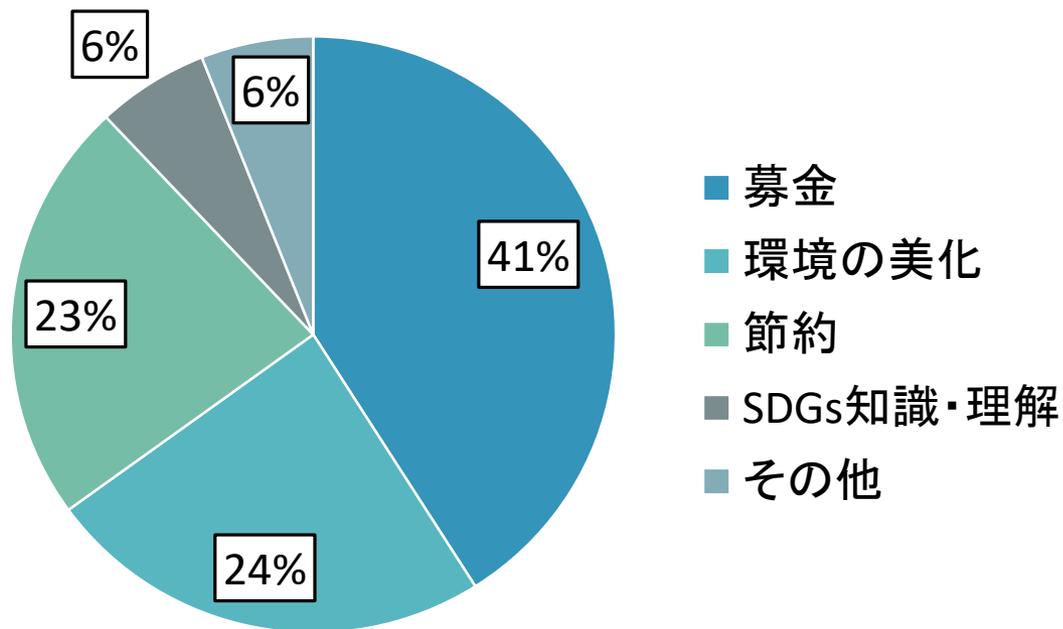


募金活動を通して役に立てたと大半が実感することができた。

また、その他として、皆に楽しく暮らしてほしい・ワクワクを提供してほしい・学校に通ってほしいなどが挙げられた。

# アンケート結果②

## 自分たちにできること



自分たちができることとして、募金活動がほぼ大半を占めた。

SDGsについてさらに学び知識をつけ、理解したいという意見も見られた。

また、その他としてボランティア活動への参加なども挙げられた。

# 生徒会のまとめ

---

## ●募金活動を終えて

- ・募金をしたことで、多くの生徒が世界の苦しんでいる人や困っている人の役に立てたと感じる事ができた。
- ・今当たり前前にできていることは当たり前ではなくて、幸せなことであり、恵まれていることだと感じた。
- ・統一祭の取り組みと絡めたことでたくさんの生徒、先生方に募金活動に参加してもらえた。

## ●今後

- ・ユニセフ募金だけでなく、災害の募金活動にも積極的に参加していく。
- ・今ご飯を食べられていることに感謝し、残さず食べる。
- ・無駄なものは買わないで本当に必要かどうか考えてから買う。
- ・リサイクルできるものはリサイクルし、ゴミを減らしていく。

# 全体のまとめ

---

- ・SDGsの学習を通じて、日本を超えた世界の今の状況を知ることができた。
- ・募金活動や海岸清掃をして、今の世界、そして未来の世界を救うことに貢献することができた。
- ・SDGsについてもっと知識をつけたい、理解したいと思えた生徒がたくさんいて、とてもいい機会になった。
- ・これから自分たちができることを全校生徒が考えることができた。これからは実行していく。

**募金活動などの取り組みを来年へと受け継いでいこう。**